毒物及び劇物の性質及び貯蔵その他取扱方法

問21　次のうち、農業用品目販売業の登録を受けた者が、販売できない毒物又は劇物はどれか。

１　２－クロルエチルトリメチルアンモニウムクロリド（別名：クロルメコート）
○２　メタノール
３　１・３－ジクロロプロペン
４　フェンプロパトリン

問22　次のうち、常温常圧下で液体のものはどれか。

１　メタアルデヒド
２　塩素酸ナトリウム
３　燐（りん）化亜鉛
○４　ダイアジノン

問23　次のうち、２％を含有する製剤が劇物に該当するものはどれか。

１　イミノクタジン
２　アセタミプリド
○３　フルスルファミド
４　エマメクチン

問24　次のうち、カーバメイト系殺虫剤の中毒治療薬として主に用いられるものはどれか。

○１　硫酸アトロピン
２　ジメルカプロール（別名：ＢＡＬ）
３　亜硝酸アミル
４　エデト酸カルシウム二ナトリウム

問25　次のうち、２・２’－ジピリジリウム－１・１’－エチレンジブロミド（別名：ジクワット）の廃棄方法として最も適切なものはどれか。

１　　沈殿法
２　　分解法
○３　　燃焼法
４　　中和法

問26　次の記述のうち、ブロムメチルの貯蔵方法として最も適切なものはどれか。

１　　少量ならば褐色ガラス瓶、多量ならばカーボイなどを使用し、３分の１の空間を保って貯蔵する。
○２　　常温では気体であるため、圧縮冷却して液化し、圧縮容器に入れ、直射日光その他、温度上昇の原因を避けて、冷暗所に貯蔵する。
３　　空気に触れると発火しやすいので、水中に沈めて瓶に入れ、さらに砂を入れた缶中に固定して、冷暗所に保管する。
４　　空気中にそのまま保存することができないので、通常、石油中に保管する。冷所で雨水などの漏れが絶対にない場所に保存する。

問27　次のうち、ネオニコチノイド系農薬に分類されるものはどれか。

○１　　イミダクロプリド
２　　トラロメトリン
３　　ジメチルジチオホスホリルフェニル酢酸エチル（別名：フェントエート）
４　　チオジカルブ

問28　次のうち、毒物及び劇物取締法上、深紅色に着色しなければ特定毒物使用者に譲り渡してはならないものはどれか。

○１　　モノフルオール酢酸ナトリウムを含有する製剤
２　　硫酸タリウムを含有する製剤
３　　燐化アルミニウムとその分解促進剤とを含有する製剤
４　　２・２’－ジピリジリウム－１・１’－エチレンジブロミド（別名：ジクワット）を含有する製剤

問29　次の記述のうち、Ｎ－メチル－１－ナフチルカルバメート（別名：カルバリル）の毒性として最も適当なものはどれか。

１　中枢神経系の抑制作用及び肺の刺激症状が現れる。皮膚に付着して蒸発が阻害された場合には発赤、水疱が見られる。

○２　摂取後５～20分後より運動が不活発になり、振戦、呼吸の促迫等が起こる。また、一時的に反射運動亢進、強直性痙攣を示す。

３　緑色又は青色のものを吐く。のどが焼けるように熱くなり、急性の胃腸カタルを起こし、血便を出す。

４　細胞の酸素代謝を直接阻害し、嫌気性代謝が進行するため、代謝性アシドーシスとなる。

問30　次の記述のうち、クロルピクリンが漏えいした際の措置として最も適切なものはどれか。

１　漏えい個所を濡れむしろ等で覆い、遠くから多量の水をかけ洗い流す。この際、高濃度の廃液が河川等に排出されないよう注意する。

○２　漏えいした液が多量の場合、土砂等でその流れを止め、多量の活性炭又は水酸化カルシウムを散布して覆い、至急関係先に連絡し専門家の指示により処理する。

３　漏えいしたボンベ等を多量の水酸化ナトリウム水溶液（20w/v%以上）に容器ごと投入してガスを吸収させ、さらに酸化剤（次亜塩素酸ナトリウム、さらし粉等）の水溶液で酸化処理を行い、多量の水で洗い流す。

４　漏えいした液は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導き、空容器にできるだけ回収し、そのあとを水酸化カルシウム等の水溶液にて処理し、中性洗剤等の分散剤を使用して多量の水で洗い流す。

毒物及び劇物の識別及び取扱方法

問31　次の記述のうち、メトミルの常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

1　　白色の結晶で、水に溶けない。
○2　　白色の結晶で、水に溶ける。
3　　無色の液体で、水に溶けない。
4　　無色の液体で、水に溶ける。

問32　次のうち、メトミルの用途として最も適するものはどれか。

1　　除草剤
2　　殺菌剤
3　　殺鼠剤
○4　　殺虫剤

問33　次の記述のうち、２－ジフェニルアセチル－１・３－インダンジオン（別名：ダイファシノン）の常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

○1　　黄色の結晶性粉末で、水にほとんど溶けない。
2　　黄色の結晶性粉末で、水に溶けやすい。
3　　黄色の液体で、水にほとんど溶けない。
4　　黄色の液体で、水に溶けやすい。

問34　次のうち、２－ジフェニルアセチル－１・３－インダンジオン（別名：ダイファシノン）の用途として最も適するものはどれか。

1　　除草剤
○2　　殺鼠剤
3　　殺虫剤
4　　土壌燻蒸剤

問35　次の記述のうち、（ＲＳ）－α－シアノ－３－フェノキシベンジル＝（１ＲＳ・３ＲＳ）－（１ＲＳ・３ＳＲ）－３－（２・２－ジクロロビニル）－２・２－ジメチルシクロプロパンカルボキシラート（別名：シペルメトリン）の常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

1　赤褐色の液体で、水に溶けにくい。
2　赤褐色の液体で、水に溶けやすい。
○3　白色の結晶性粉末で、水に溶けにくい。
4　白色の結晶性粉末で、水に溶けやすい。

問36　次のうち、（ＲＳ）－α－シアノ－３－フェノキシベンジル＝（１ＲＳ・３ＲＳ）－（１ＲＳ・３ＳＲ）－３－（２・２－ジクロロビニル）－２・２－ジメチルシクロプロパンカルボキシラート（別名：シペルメトリン）の用途として最も適するものはどれか。

1　植物成長調整剤
2　殺鼠剤
○3　殺虫剤
4　除草剤

問37　次の記述のうち、１・１’－ジメチル－４・４’－ジピリジニウムジクロリド（別名：パラコート）の常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

1　黄褐色油状の液体で、アルカリ性下で安定である。
2　黄褐色油状の液体で、アルカリ性下で不安定である。
3　無色の吸湿性結晶で、アルカリ性下で安定である。
○4　無色の吸湿性結晶で、アルカリ性下で不安定である。

問38　次のうち、１・１’－ジメチル－４・４’－ジピリジニウムジクロリド（別名：パラコート）の用途として最も適するものはどれか。

○1　除草剤
2　殺菌剤
3　植物成長調整剤
4　殺虫剤

問39　次の記述のうち、トリシクラゾールの常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

1　　無色の油状液体で、有機溶媒に溶けやすい。
2　　無色の油状液体で、有機溶媒に溶けにくい。
3　　無色の結晶で、有機溶媒に溶けやすい。
○4　　無色の結晶で、有機溶媒に溶けにくい。

問40　次のうち、トリシクラゾールの用途として最も適するものはどれか。

1　　殺鼠剤
2　　植物成長調整剤
○3　　殺菌剤
4　　殺虫剤